

令和3年度（2021年度）主要施策の概要

新年度は、新改革プランのもと、大胆かつ着実に改革を進め、健全な財政を取り戻すべく、効率的な行財政運営を行ってまいります。

1. 新アウトソーシング計画の策定

「民間でできることは民間で担う」発想のもと、「箕面市新アウトソーシング計画」を策定します。

2. 施設の再配置構想

再編や再配置を含めた公共施設のありかたを検討します。

3. 市有財産の有効活用

【予算額（歳入） 130,000千円】

有効活用できるものは貸付などを積極的に行い、活用を見込めない財産は、計画的に売却を進めます。

4. 全事業の点検

全事業について、社会経済情勢や市民ニーズの変化などを踏まえながら、公益性、必要性、公平性など幅広い観点で検証し見直しを行います。

5. 各種団体の見直し

各種団体が安定的に持続可能な事業展開を行えるよう、組織のスリム化や効率化に向けた支援を行います。

6. 箕面新稲の森の整備・野外活動センター事業者募集

【予算額 30千円】

箕面新稲の森の整備について、青少年教学の森野外活動センターの活用と併せ、民間事業者の力を最大限活かした方策について検討を進めます。

7. 唐池公園リニューアル

【予算額 48,000千円】

公園の魅力アップを進めるため、公園のリニューアルに着手し、新年度は唐池公園を3世代が楽しめる公園にリニューアルします。

8. 医師が常駐する病児保育室の整備

【予算額 33,660千円】

令和4年4月の開設をめざし国費などを活用して整備費を民間事業者へ支援します。

9. 少人数学級を小学3年生まで拡大

【予算額 18,837千円】

新年度より国の動きに先駆けて、小学3年生を35人学級とし、きめ細かな指導体制、環境を整備します。

10. オンライン学習の推進・支援

【予算額 176,819千円】

デジタルドリルを活用した個別学習や持ち帰り学習の実施に向けた検討を進めます。また、全ての児童生徒が自宅でオンライン授業を受けることができるよう支援します。

11. 大阪大学箕面キャンパスの跡地活用

【予算額 7,858千円】

大阪大学箕面キャンパス跡地の活用について、優先交渉事業者と協議のうえ、契約の締結を行います。

12. 北大阪急行線の延伸と新駅周辺のまちづくり

【予算額 5,267,473千円】

令和5年度の鉄道開業に向けて、トンネル本体の工事や軌道の敷設などを行っていきます。また、新駅周辺のまちづくりでは、エントランス、駅前広場、箕面船場第二駐輪場の整備を進めます。

13. 新病院運営手法の検討

【予算額 6,050千円】

新病院が担うべき役割や機能をより効果的、効率的に実現できる運営主体や運営手法について検討を進めます。

14. 箕面船場地区ヘルスケア拠点施設の創出

【予算額（債務負担限度額） 257,275千円】

箕面船場地区に整備が予定されている「関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター（仮称）」について、国の交付金を活用し、整備費を支援します。また、センターを活用したスポーツと健康のまちづくりに資する各種施策の検討を進めます。

※各項目の予算額は、ここに挙げていない事業分を含んでいる場合があります。詳細は「主要施策」をごらんください。